

平成22年度の緊急発進実施状況について

1 全般

平成22年度の緊急発進回数の総数は386回であり、平成21年度に比べて87回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象別の割合は、ロシア機約68%、中国機約25%、台湾機約2%、その他約5%でした。

また、第4四半期のみの緊急発進回数は96回であり、平成21年度の同時期に比べて10回増加しました。

2 方面隊別の状況

平成22年度の方面隊別の緊急発進回数は、北部航空方面隊が151回、中部航空方面隊が80回、西部航空方面隊が40回、南西航空混成団が115回でした。平成21年度に比べて、全ての方面隊等の緊急発進回数が増加しました。

また、第4四半期のみの方面隊別の緊急発進回数は、北部航空方面隊が26回、中部航空方面隊が11回、西部航空方面隊が9回及び南西航空混成団が50回でした。

3 平成22年度の特徴

- (1) ロシア機に対する緊急発進回数は264回であり、平成21年度から67回増加しました。

年度を通して、ロシア機が我が国領空に沿って日本海から太平洋に至る長距離飛行をするなどしたため、特異な飛行であるとして、29件の事例について公表しました。

また、北海道周辺におけるTU-160爆撃機の飛行（平成22年6月10日）については、緊急発進した自衛隊の戦闘機により初めて目視確認及び写真撮影を実施し、公表しました。

- (2) 中国機に対する緊急発進回数は96回であり、平成21年度から58回増加しました。

また、東シナ海におけるY-8哨戒機型及びY-8情報収集機型の飛行（平成23年3月2日）については、中国軍機による初めての尖閣諸島周辺の我が国領空への接近飛行であり、特異な事例であるとして、公表しました。

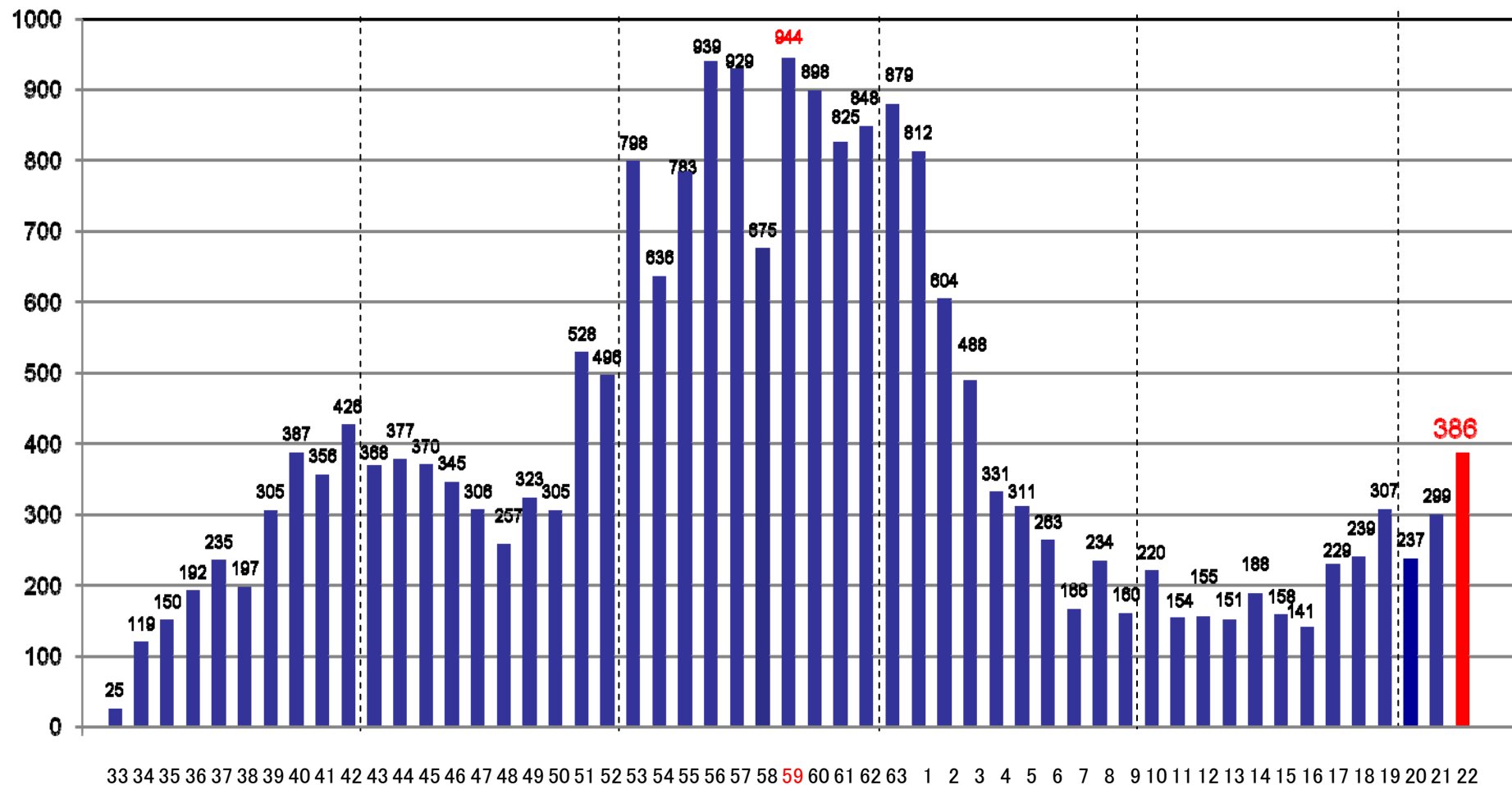
- (3) いずれの事例も領空侵犯事案には至りませんでした。

- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移
 - 3 国・地域別緊急発進回数
 - 4 四半期毎の緊急発進回数の推移
 - 5 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例
 - 6 領空侵犯の事例

年度緊急発進回数推移

回数

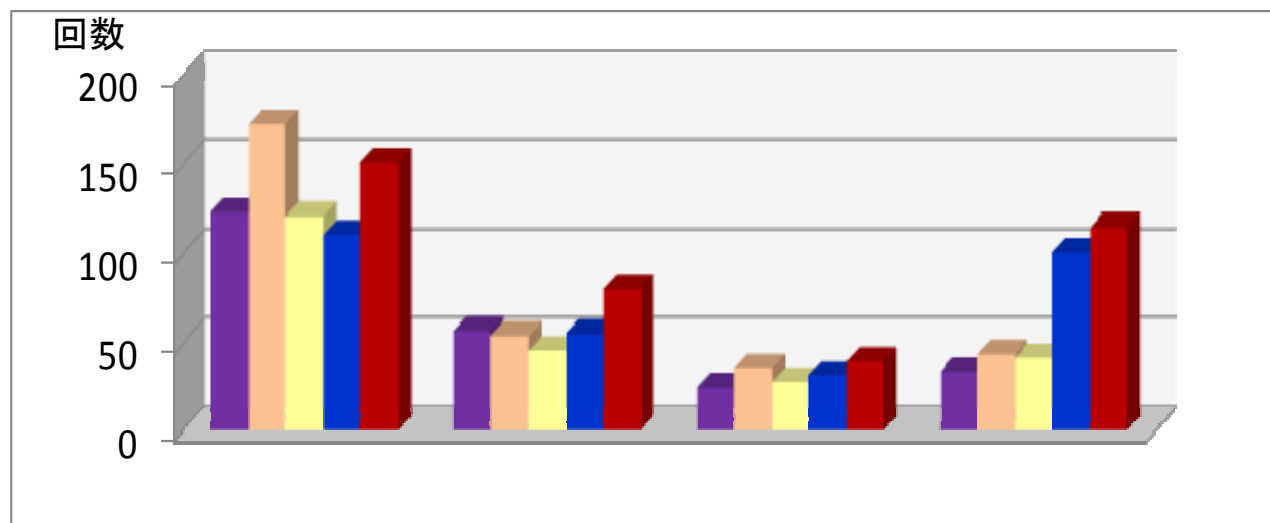
23. 3. 31現在



年度

航空方面隊別緊急発進回数の推移(18～22年度)

23. 3. 31現在



	北空	中空	西空	南混	合計
■ 18年度	123	57	25	34	239
■ 19年度	173	54	36	44	307
■ 20年度	121	46	28	42	237
■ 21年度	111	55	32	101	299
■ 22年度	151	80	40	115	386

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

23. 3. 31現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1 8	196	22	8	0	13	239
1 9	253	43	3	0	8	307
2 0	193	31	7	0	6	237
2 1	197	38	25	8	31	299
2 2	264	96	7	0	19	386

※ 国・地域は、推定を含む。

四半期毎の緊急発進回数の推移(22年度)

23. 3. 31現在

1 航空方面隊別

	北空	中空	西空	南混	合計
1／四半期	33	16	4	12	65
2／四半期	45	34	18	24	121
3／四半期	47	19	9	29	104
4／四半期	26	11	9	50	96
合計	151	80	40	115	386

2 国・地域別

	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1／四半期	52	9	2	0	2	65
2／四半期	97	15	2	0	7	121
3／四半期	71	24	1	0	8	104
4／四半期	44	48	2	0	2	96
合計	264	96	7	0	19	386

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例



→ : 中国機の経路

→ : ロシア機の経路

NO	年月日	領 侵 地 点	国・地域	機種×機数
1	42. 8. 19	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
2	49. 2. 7	北海道礼文島上空	ソ連	不明×1
3	50. 9. 24	伊豆諸島の式根島及び神津島間の領海上空	ソ連	TU-95×2
4	51. 9. 6	北海道茂津田岬の沖合上空～函館空港までの間(MIG-25事件)	ソ連	MIG-25×1
5	52. 9. 7	五島列島西方の白瀬島北西領海上空	ソ連	TU-95×2
6	53. 3. 17	対馬東方領海上空	ソ連	TU-95×1
7	53. 12. 5	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
8	54. 11. 15	尖閣諸島大正島南方領海上空	ソ連	TU-95×2
9	55. 6. 29	能登半島北方舩倉島北東領海上空	ソ連	IL-38×2
10	55. 8. 18	五島列島南東領海上空	ソ連	IL-62×1
11	56. 6. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	IL-14×1
12	56. 7. 24	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
13	57. 4. 3	長崎県男女群島鳥島西方領海上空	ソ連	IL-62×1
14	58. 10. 15	北海道知床岬北東領海上空	ソ連	不明×2
15	58. 11. 15	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16/95×各1
16	59. 11. 12	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-16×1
17	59. 11. 23	福岡県沖ノ島北西領海上空	ソ連	TU-95/142×各1
18	61. 2. 6	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
19	62. 8. 27	北海道礼文島西方領海上空	ソ連	不明×1
20	62. 12. 9	沖縄本島上空及び徳之島・沖永良部島間の領海上空	ソ連	TU-16×1
21	1. 4. 21	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	不明×1
22	3. 7. 6	北海道根室半島南方領海上空	ソ連	AN-30×1
23	3. 8. 15	北海道礼文島北方領海上空	ソ連	TU-95×2
24	4. 4. 10	北海道礼文島上空及び稚内北西領海上空	ロシア	AN-12×1
25	4. 5. 7	北海道枝幸沖領海上空	ロシア	不明×1
26	4. 7. 28	長崎県対馬東方領海上空	ロシア	TU-154×1
27	5. 8. 31	青森県久六島西方領海上空	ロシア	IL-20×1
28	6. 3. 25	尖閣諸島魚釣島領海上空及び久場島領海上空	台湾	B-350×1
29	7. 3. 23	北海道礼文島領海上空	ロシア	MIG-31×1
30	13. 2. 14	北海道礼文島領海上空	ロシア	TU-22×2、不明×2

領空侵犯の事例

22年度 0件

